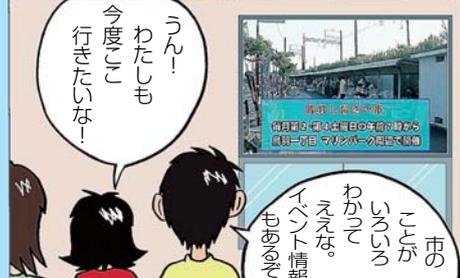
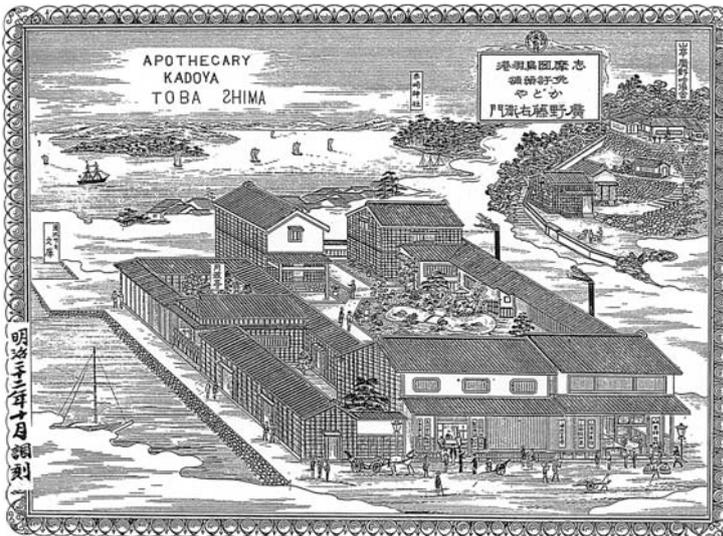


すこやかに とばごばんきんこ vol.28

AK 絵



9月1日から行政チャンネルとばの放送が開始されます(4ページで紹介)。市の施策や各課からのお知らせ、イベントなど、いろいろな情報をみなさんにお知らせします。テレビ放送により、市がもっと身近なものになればと思います。



御本幸吉に「鳥羽で越えられない人物」と言われた理由

江戸時代から回漕業を営んでいた藤本家の資料に、明治24年度の鳥羽町の高額所得者を調査した「所得金高下調査書」が残っていました。それによれば、1位が広野藤右衛門の1,900円、2位は阿部平吉となつています。当時の鳥羽町の総予算が1,290円となつていたので、600円以上も多く稼いでいたことになります。

明治24年の官令布告の「地方税戸数割課額等級案」にも「1等、広野藤右衛門1戸1円19銭」と記されており、真円真珠養殖を成功させる前の苦しかったころの御本幸吉の名前は、まだありませんでした。このような時代を生きたからこそ幸吉に広野と阿部は越えられない人物といわれたのだと思われます。

鳥羽町の高額所得者を調査した「所得金高下調査書」(藤本家資料)



十五等	四五 二銭	金壹圓二拾五銭
十六等	三 壹銭	金三銭
計	一一五 半均廿壹錢八厘	金貳百四拾五圓廿五銭
一等	一戸二付金壹圓拾九銭	
計	廣野 藤右衛門	
二等	一戸一付金九拾七銭	金壹圓拾九銭
計	阿部 平吉	

明治廿四年年度地方税戸数割課額等級案

「地方税戸数割課額等級案」(藤本家資料)。所得によって等級を定められ、課税されました。一等のところには広野藤右衛門の名前が見えます。

よみがえる「鳥羽」をみる

Vol.28

江戸時代には「大庄屋」も務め、鳥羽随一の資産家といわれた広野家。平成16年に市に寄贈された広野邸から、さまざまな鳥羽の昔の姿が見えてきます。

編集後記

広報マン

青いタオル

角谷 澤田くん、最近毎日、トレッドマークのように、その青いタオル巻いとるなあ。

澤田 実は、今年はおせもがっぱいできてしまってます。

角谷 なるほど、それでタオルが離せんのや。

澤田 はい、タオルのおかげで良くなったんですが、今も予防のために巻いています。青いタオルの肌触りがすっきり気に入ってます。

角谷 ふーん、こどもみたいやなあ。大事のタオル、無くさんように気をつけてな。

澤田 大丈夫です！同じタオルが一週間分ありますから！

角谷 !!



編集と発行

鳥羽市総務課秘書広報係

〒517-0011 鳥羽市鳥羽三丁目1-1 ☎0599-25-1114
 ホームページ <http://www.city.toba.mie.jp/>
 Eメール koho@city.toba.mie.jp

資源保護のために再生紙を使用しています。